

2019 年度第 2 回釧路孝仁会記念病院特定認定再生医療等委員会記録

日時 令和元年 12 月 22 日（日）14：00 ～16：30
 場所 北海道大野記念病院 7F 会議室
 札幌市西区宮の沢 2 条 1 丁目

委員会成立の確認

出席委員は以下のとおり

	氏名	性別	構成要件	設置者との利害関係	出欠
委員長	瀬上 清貴	男	⑦	無	○
委員	横山 繁昭	男	①	有	×
	端 和夫	男	②	無	○
	佐野 俊二	男	②	無	×
	齋藤 孝次	男	③	有	×
	大星 茂樹	男	④	無	○
	杉本 弘文	男	④	有	○
	稲澤 優	男	⑤	有	×
	栗屋 剛	男	⑥	無	○
	古川 和	女	⑧	無	×
	金谷 恵子	女	⑧	有	○
	丸山 時己子	女	⑧	無	○
	逢坂 千恵子	女	⑧	無	○

- 構成要件：①分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家
 ② 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
 ③ 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）
 ④ 細胞培養加工に関する識見を有する者
 ⑤ 法律に関する専門家 ⑥ 生命倫理に関する識見を有する者
 ⑦ 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者
 ⑧ ①～⑦以外の一般の立場の者

出欠：

- 出席し、かつ当該再生医療等提供計画に関与しない委員
 × 欠席した委員

成立要件（省令第 64 条）1～6 に基づき委員会の成立を確認した。また、議事録署名人として杉本委員を選出した。

議 題

1. 定期報告

2018年10月23日に提出された提供計画についての審査

申請者：医療法人社団 木津歯科

理事長 木津 康博先生

「歯科治療における脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた顎骨・粘膜再生」

（計画番号：PB3170030）

別紙様式第三および3例の症例報告がスライドを用いて具体的に行われ、提供計画に従って、適切に実施されていることを確認した。

以下は委員からの意見

（端委員）CTで骨の出来具合を評価しているようですが、MRIは実施していないのですか？

（申請者）歯科領域で使用するコーンビームCTは被曝線量が小さいため、侵襲性が低いですし、グレースケール値で骨の形成具合を評価することは可能です。MRIとなると他院での撮影となるため、患者さんの負担も大きくなるためCTの評価で十分と判断しました。

（金谷委員）入院は必要ですか

（申請者）この治療での入院は不要です。外来で2～3時間ほどでお帰りいただけます。

ただ食生活に2週間ほど不便が生じますが、腸骨を使った従来の治療の場合では1週間ほどの入院が必要となっていましたので、その点でもこちらの方が有効だと思われま

（大星委員）できた細胞の無菌検査は実施していますか

（申請者）提供計画にも記載したのですが、セリューションは無菌操作で行っているため感染リスクは極めて低いと思われるため実施していません。

（杉本委員）細胞を培養している場合はコンタミネーションのリスクがあるので、検査を実施しますが、セリューションによる無菌操作の場合は不要とするケースが多いです。

（委員長）コンタミネーションのリスクは少ないと思いますが、次回の定期報告までに検査等考えられる対応がありましたら報告していただきたいと思います。

（申請者）わかりました。

（委員長）ほかにご意見がなければ、当委員会全体としては「本提供計画は適切に実施されており、今後、さらに症例を重ねて行っていただきたい」というご意見になると思われま

（全委員）異議なし。

（委員長）それでは継続を「適」とした意見を提出したいと思いますが、よろしいでしょうか

（全委員）賛成

以上